

<各務原市「少年の主張」発表会>

校長 佐藤 幹彦



6月18日(土)に、各務原市青少年育成市民会議主催の「各務原市『少年の主張』発表会」が開催されました。コロナ禍で3年ぶりの開催ということでしたが、市内8中学校から各2名ずつ、計16名の代表生徒たちが、日頃から考えていること、感じていることなどを精一杯語る姿と、その内容の深さに大変感動するとともに、生徒たちが身に付けている話し方や表現力等のポテンシャルの高さに感心しました。



本校からは、3年生の青木玲奈さんと菅原加恋さんが参加しました。青木さんはトップバッターで緊張したと思いますが、「本当の礼儀」という題目で、自分の思いを相手に伝えようと努力すること、感じさせる努力をすることこそが「本当の礼儀」であると、堂々と語ってくれました。



菅原さんは、将来AIによって仕事がとられつつある現状を危惧するとともに、人間の良さが発揮できないような社会にはしたくないこと、人間にしかできない力をもっと身に付けていくことが大切であるということ、自分の経験を交えながら語ってくれました。

二人の頑張りについては全校放送で表彰するとともに、「話が上手な人は聞く力が優れていること」「聞く力が優れているからこそ、自分なりにいろいろな考えを巡らすことができること」ということを紹介しながら、普段の授業の中でも、常に「聞き手が話し手を育てる」ということを意識して頑張ってもらいたいという願いを伝えました。